

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床作業療法学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	403号室
担当教員	OT学科専任教員、外部講師	実務経験と その関連資格	作業療法士として病院・施設で勤務し、身体障害者領域・精神障害者領域・老年期障害領域で各疾患に対して作業療法を实践。新人教育、実習学生の指導に携わる。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、事例を通した統合と解釈やクリニカルリーズニングの演習などを通して、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>課題レポート100%で評定する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>■教科書: 配布資料、 標準作業療法学 専門分野 作業療法臨床実習とケーススタディ [第2版] (医学書院)、 OT症例レポート赤ペン添削 ビフォー&アフター (羊土社)</p> <p>■参考書: 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>基本的に次の通り。 【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、観察内容の言語化、考察・クリニカルリーズニング内容の言語化などを進める。 【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>・課題を明示するため、予め予習しておくこと。課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】シラバス内容の確認。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)	
	各コマにおける授業予定	事例1演習① 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)	
	各コマにおける授業予定	事例1演習② 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)	
	各コマにおける授業予定	事例1演習③ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)	
	各コマにおける授業予定	事例1演習④ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)	
	各コマにおける授業予定	事例1演習⑤ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例2演習① 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例2演習② 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例2演習③ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例2演習④ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例2演習⑤ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例3演習① 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例3演習② 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例3演習③ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例3演習④ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。		教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
	各コマにおける授業予定	事例3演習⑤ 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。			